

平成26年度 糸魚川市教育研究会 図工・美術部 活動報告

部長 高橋 雅史(糸魚川市立磯部小)

1 研究・活動のねらい

- 糸魚川市児童生徒の実態及び地域の実情に即した課題を明確にし、それに基づいた研究を推進する。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた図工・美術教育の振興を図る。

2 研究・活動の概要

- (1) 会員の指導力の向上を図る授業実践研修の実施
- (2) 糸魚川市児童生徒図工・美術作品展の開催を通じた地域における美術教育の振興

3 研究・活動の実際

(1) 授業研究会

- ① 日時 平成26年11月18日(火) 14:00～16:30
- ② 会場 糸魚川市立青海小学校
- ③ 学年 小学校3年
- ④ 授業者 青海小学校 室谷 美香子 教諭
- ⑤ 題材名 「けずって つくって み ようかい」(粘土を削っての創作活動) ; A表現(2)立体に表す
- ⑥ 指導者 柏崎市立剣野小学校 校長 細井 一貞 様
- ⑦ 参加者 糸魚川市教育研究会図工・美術部部員17名 青海小学校職員 12名
- ⑧ 概要
 - ・平成28年度まで県小学校教育研究会の図画工作の研究指定を受けている青海小学校の校内研究授業公開と授業検討会に合わせて、糸魚川市の図工・美術部の授業実践研修会を開催した。青海小学校職員とともに、図工・美術部員も公開授業を参観し、その後の研究協議会において青海小学校の研究主題、当部会の研究主題を踏まえた研究協議を行った。
 - ・青海小学校では、『学ぶ楽しさ』『分かる喜び』が実感できる授業づくり～かかわりづくりだす力を培う図画工作授業の創造～という研究主題のもとに授業実践研究を継続しその成果を蓄積している。本時の公開授業は、これまでも交流のあった地域在住の彫刻家石田一馬さんをゲストティーチャーに招いた授業である。プロの技や彫刻に取り組む姿勢の一端を実際に見せてもらった後、自分たちも大きな粘土塊を削って、大好きな妖怪を創作していった。石田さんにもアドバイスしてもらいながら、子どもたちは、いきいきと目を輝かせ、夢中で制作に取り組んでいた。
 - ・授業協議会では、「地域人材の活用の重要性」「他とかかわりながら制作に取り組むことのよさ」「子どもの意欲を引き出す授業構成のあり方」などについて活発な議論が交わされた。また、「青海小プランを参考にするなどして、自校でも地域人材を活用した図工の指導計画づくりを進めていきたい」等の前向きな姿勢が見られた。

(2) 糸魚川市児童生徒図工・美術作品展

- ① 期 日 平成26年11月15日(土)～11月17日(月)
- ② 会 場 青海総合文化会館「きらら青海」展示室
- ③ 概 要
 - ・展示したものは糸魚川市内の児童生徒が普段の授業やクラブ活動、部活動等で制作した平面作品や立体作品である。3日間の期間中に1200人の参観者があり、年々増加する傾向にあることから、地域の図工・美術に関する大切な行事として定着している。

4 成果と課題

- 授業研究会では、青海小学校が一丸となって進めている先進的な研究の進め方や地域人材の活用方法、子どもの創作意欲を生み出す授業構成の在り方など多くのことを学ぶことができた。各校で図工・美術教育の中核となっている部員たちが自校にその成果を持ち帰り、市全体の図工美術教育の水準向上に寄与しているものと考えている。
- 今年度は、日程等の理由で実技研修会が開催できなかった。図工美術部員として教科指導に関わる実技力向上は重要なので、来年度以降実施するよう努めたい。